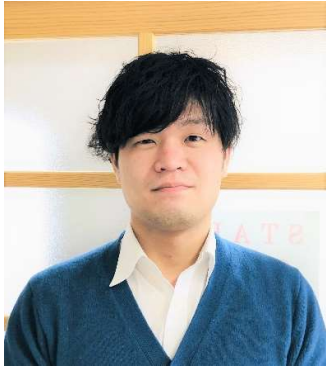




高原の風



はじめまして！よろしくお願いします！

今年度より飯田公民館での勤務となりました、日隈久徳と申します。陽春の候、、、と時候の挨拶を申し上げようと思いましたが、まだ朝夕は寒さが残り、飯田らしさを肌で感じています。

役場に入庁してまだ5年目であり、もちろん公民館での勤務も初めての経験となります。いろいろと至らないこともあると思いますが、「話す・聞く・動く」ことをモットーに、利用しやすい飯田公民館を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

3年間ありがとうございました！

この度、人事異動により飯田公民館を離れることになりました。平成30年度より3年間の勤務でしたが、飯田地区の多くの方とお話をしたり、一緒に活動したことが自分自身にとって大きな経験となりました。3年間と短い間でしたが大変お世話になりました。

実家が飯田なので、よく飯田には来るとお思いますので見かけたら声をかけてください。



とってもいい匂いがします♪

飯田公民館和室の畳の表替をしました！
畳が擦り切れており、屑などが服についてしまいご迷惑をおかけしましたが、やっと表替をすることができました。
和室に行くと井草のいい匂いがしますので、みなさんどんどんご利用ください。

飯田地区人口(令和3年3月31日)

人 口 1,708人(-4)

男 性 862人(-2)

女 性 846人(-2)

世帯数 803世帯(+2)

令和 3年 4月16日(金)

編集・発行

飯田地区まちづくり協議会

飯田公民館

TEL 0973-79-2251

飯田ふれあい夢食堂

4月10日 フレオーブン!

少子高齢化、核家族化の進行に伴い、人と人とのつながりが希薄化し、高齢者だけでなく、子育て世代も地域の中で孤立しがちな状況が見られます。このような中、「食堂」の開催を通して、その地域に住む多世代の方が集い、食と遊びを通して、失われつつある「地域社会」のぬくもりに触れる機会を作り、今後の共生型の居場所づくりの普及を図る契機とすることを目的（実行委員会「資料」より抜粋）に、令和3年1月21日（木）、飯田公民館において、食生活改善推進員、給食ボランティア、老人クラブ、民生委員、放課後児童クラブ、まちづくり

協議会ほか２７名の関係者が集まり、実行委員会が開催されました。

「会」では、実行委員会・会長に森八重子氏を選出し、毎月1回 第2土曜日に開催すること、**4月10日**に**プレオープン**し、**第1回目**を**5月8日**に開催することが決定されました。

現在、「会」では、参加の呼びかけと運営のお手伝いをして下さる方を募集しています。

また、地産地消型のフードコンテナを設置しますので、夢食堂で使用する食材等のご提供をお願いする予定です。なお、詳しいことは、社会福祉協議会（☎.76-2500）まで。

ドライブインシアター Drive-in Theater を実施しました !!

3月20日（土）午後7時半から、飯田地区グラウンドでドライブインシアターを開催しました。コロナ禍の中でしたので、三密を避けプライベート空間・車の中から、10m×5m



の大スクリーンに映し出される映像とFMラジオから流れる音声を聞きながら、映画『あん』を鑑賞しました。

夜空のシネマに家族で楽しく過ごすことができました。まさに「**星降る映画館**」でした。

子どもと本（4月23日は「子ども読書の日」です）

子どもを本好きにするには、どうしたらいいか—この問いに「わたしの答えは、いつもきまっています」と語るのは、東京子ども図書館名誉理事長の松岡享子氏だ。氏の答えは「生活のなかに本があること」「大人が本を読んでやること」の二つ。「うちのなかに本があり、親が本を読んでいる姿を見る。それが、子どもには本への第一歩です」と。(『子どもと本』より)

昨年、兵庫県加古川市教育委員会が行ったアンケート調査では、**家族が読書する姿に接している子どもほど「読書好き」との結果が出た。**例えば、小学５・６年生で「家の人がふだんからよく本を読んでいる」と答えた児童のうち、

読書が「好き」と答えたのは62.4%。反対に「家の人があだんから本をあまり読んでいない」と答えた児童で、読書が「好き」と答えたのは38.2%にとどまった。

子どもに「本を読みなさい」と言うのは簡単である。だが親の姿以上に、雄弁なものはない。**日頃から読書に親しむ姿を見せることが大切**であろう。そうすれば、子どもは自然に本と触れ合うようになるものだ。普段は忙しい大人も、コロナ禍で子どもと一緒に過ごす時間が増えた。家庭で本に親しむ大人の姿は、子どもに贈る最高のプレゼントの一つである。(新聞記事より)

さあ、あなたも家庭で本に親しみましょう！